

'03.12

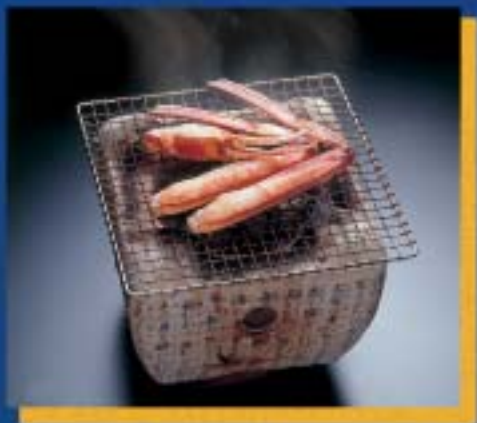
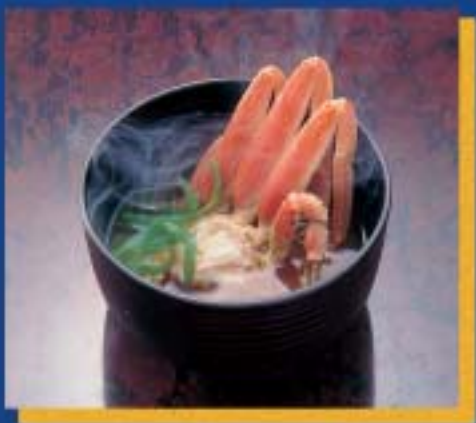
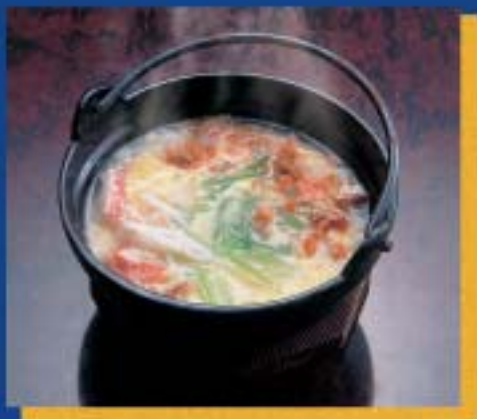
毎月1回20日発行 定価 1部60円
発行所 兵庫県商工連合会
発行人 会長 土谷正男
神戸市中央区花隈町6の19
☎神戸(371)1261(代)〒650-0013
<http://www.shokoren.or.jp/>
編集人 澤田 功
印刷所 大和出版印刷株式会社
会員の購読料は会費に含んでおります

第 556 号

兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry



主な行事予定

1月のこよみ

- 14日(水) 退職金共済運営委員会 (県商工会館)
- 16日(金) 正副会長・常任理事会 (県商工会館)
- 21～23日 消費税円滑化対策研修会 (城崎大会議館ほか)
- 26日(月) 第4回理事会 (県商工会館)
- 28日(水) 事務局連絡会(六甲荘)

兵

庫

料理シリーズ

『かに料理』

山陰の冬の味覚と言えば、松葉ガニだろう。カニ漁の解禁は十一月六日で、この日から香住漁港は一気に活気付いていく。漁師のこだわりと、仲買人の肥えた目での選りすぐりの逸品は、海の宝石にも喩えられよう。炭を使った焼きガニ、新鮮な身のカニ刺、半生で食べるカニしゃぶ…とカニ三昧に耽るのは最高の贅沢かも知れない。外に雪が舞い、部屋でふつと煮えるカニすきを囲む時、人々の笑顔はみんな温かくなる。特に甲羅に詰まったカニ味噌を肴にした熱燗は、まさに至福の瞬間。香住町には、極上の逸品を提供する旅館・民宿等も多く、カニをこころん堪能出来る町となっている。

提供 香住町商工会

迫られる機構改革



▲商工会役員の役割等を研修、今後の商工会運営に危機感を共有する

見られるようになった。
こうした状況の中で、これからの商工会は、危機感を共有しながら機構改革等の必要に迫られていることなどを、講演を通じて、受講者に訴えた。

組織の機能強化

など協議

＜政策研究会＞

県商工会連合会は、十月六日、県商工会館において、第六回政策研究会を開催した。

当日、「商工会・県連の機能強化」「効果的な研修体系の構築」等について協議がなされた。協議に先立ち、県議会の九月定例会の一般質問において「商工会のあり方」についての質問がなされたこと等についての報告があった。

続いて、「商工会・県連の機



▲効果的な研修体系についても協議

能強化」について協議し、出席委員から、今後、商工会財政の危機的状況も予想されるなか、商工会は、会員にとって真に役立つ存在にならなければならぬ、そのための組織づくりに努める・積極的な人事交流を実施する・創業から廃業まで、商工会はホームドクター的な役割を果たさなければならぬなど、活発な意見が出された。

また、九月二十五日の商工会会長・副会長研修会で報告した「商工会等職員退職金共済制度改正」「商工会貯蓄共済融資あつせん制度に係る保証基金額の確保策」についても説明を行った。

各種支援策を検討

＜商工会合併等問題研究会＞

県商工会連合会では、十月三日、および十一月七日に第七回・第八回の商工会合併等問題研究会を開催した。
二回にわたる研究会での協議を通じ、商工会合併に必要な支援策について論点を絞って検討した。

論点として、補助対象職員の激減緩和措置の開始時期を、市町合併が行われてからとすべき

か、商工会合併が行われてから開始すべきか、などが検討された。研究会では、激減緩和措置の開始時期を市町合併に合わせて開始すべきとし、商工会の合併をいたずらに延ばすべきではないとの立場に立った。
職員設置に関する支援の他、商工会が合併を契機に機能強化を行うための支援策などが協議されたが、今後、報告書の成案に向けては、県下各ブロックにおいて現状の報告書案をもとに意見調整を行い、再度研究会を開催し、最終的な取り纏めを行うこととした。

FJB

株式会社 富士通ビジネスシステム

神戸支店

〒650-0026 神戸市中央区古港通1-24(ユウシンビル)
TEL(078)371-0831

女性創業塾

各自のビジネスプラン作成

県商工会連合会は、創業予定者等に対し、ソフト面における支援事業として、十月十一、十九、二十五、十一月一、九日の五日間、神戸国際会館にて、創業等を目指す女性を対象にした「女性創業塾」を開催し、経営者、OL、主婦など総勢三十四名が受講した。

講師は、自らも起業し第一線で活躍している女性講師等が、すぐに役立つ実践的、具体的な講義と指導をした。

内容は、基調講演として、自分で創業し、今も活躍の体験談



▲グループ実習で熱心に討議

福崎町商工会会長に 後藤雅一氏が就任

10月22日、福崎町商工会の臨時総代会において、前副会長の後藤雅一氏（61歳）が新会長に選任されましたので、ご紹介いたします。



こう 後藤 まさかず 雅一氏

昭和17年6月30日生まれ。株式会社マルフク代表取締役。主な公職として、柳田国男・松岡家顕彰会理事、福崎町都市計画審議会委員、福崎町公害対策審議会委員、県立福崎高等学校同窓会長ほか。趣味はゴルフ

や、マーケティング、法務・労務の基礎知識、情報活用方法、資金調達・活用方法などを学び、グループ実習で各自のビジネスプランを作成した。

最終日には、各人のビジネスプランをグループ内において発表し、代表者が選出。代表者が受講者全員の前で、自分のビジネスプランを持ち時間十分間で、

プレゼンテーションを行った。特にグループ実習では討議が熱をおび、時間を延長することもしばしばあった。最終的には、十七名が全カリキュラム（三十三時間）を修了し、閉講した。

電子入札などに対応 「商工会情報化 支援セミナー」

県商工会連合会は、十月三日神戸市・六甲荘で、商工会情報化支援セミナーを開催した。出席者は県下商工会地域から九十七名。

このセミナーは、電子入札・電子認証等の動きを理解するとともに、行政の電子化計画等の動きや仕組みを理解することで、商工業者のビジネスチャンスを支援することが狙い。まず、富士通ビジネスシステムの橋本英



▲ビジネスチャンスを支援

明氏が「電子入札・電子認証への対応について」をテーマに、電子政府における商工会の役割から、会員を取り巻く環境変化への対応などを説明。次いで、「兵庫県における電子調達システムの共同化」について、県企画管理部企画調整局の西井正和氏が、電子県庁の取り組みから、県下市町と共同した電子自治体の構築への対応、また、今後の展開を説明した。

答申案など協議

「職員退職金
問題小委」

県商工会連合会では、十月八日、県商工会館において、「第八回商工会職員退職金問題小委員会」を開催し、同委員会委員や県連合会事務局ら八名が出席。当日の協議事項並びに報告事項は次のとおり。

- ①商工会等職員退職金共済制度答申案について
- ②諸規程改正にあたっての留意事項について
- ③報告事項
- ④全国商工会職員年金制度に係る事業主負担分の廃止の取扱いについて
- ⑤全国連「商工会等職員退職金



▲引き続き諸規程改正について審議

わたしたちジブラルタ生命が、
サポートいたします。

商工貯蓄共済制度



ツーリズムの新時代

阪南大学国際コミュニケーション学部

教授 貴多野乃武次



一、いま、観光立国

昨年二月、小泉首相が施政方針演説で、「海外からの旅行者の増大と、これを通じた地域の活性化を図る」方針を示し、観光振興は内閣の主要政策課題となった。これを機に、昨年度は、観光産業の活性化・休暇の長期連続化が小泉内閣の基本方針のアクションプログラムに組み込まれ（六月）、「観光振興に関する

副大臣報告」がとりまとめられ（七月）、国土交通省が「グローバル観光戦略」を策定し（十二月）、年が明けて二〇〇三年一月の施政方針演説で「二〇一〇年に訪日外国人旅行者数を倍増させる」目標を立て、総理大臣主宰の「観光立国懇談会」を開催し（一・四月）、その報告を受けて「観光立国関係閣僚会議」を開催して（五月）、「観光立国行動計画」を策定した（七月）。

こうした一連の観光振興の機運の高まりを受けて、国土交通省は、二〇〇三年度から官民挙げて戦略的訪日促進キャンペーン「ビジット・ジャパン・キャンペーン」を本格的に展開することにした。そのキャッチフレーズは「Yokoso Japan」である。

私は、歴代首相の施政方針演説で観光振興が謳われたことを寡聞にして知らない。わが国では、多くの観光先進国のように観光大臣がいるわけでもなく、観光を担当するのが国土交通省総合政策局観光部という部門に過ぎず、国の観光宣伝機関（国際観光振興会）の予算も年間わずか三四億円で、他国に比べ一桁少ない予算である。そんな観光後進国であるわが国が、長期停滞にあえぐなか、「たかが」観光に、なぜこんなに急いで力を入れようとするのかわからないというのが、多くの人の感想ではなからうか。

二、「されど」観光

「観光」という言葉は、ちょうど子供の頃、明日が遠足という夜の高揚した気分が象徴される、「楽しい」「明るい」「明日・未来」といった「気分」を内包している。そこで、「観光」という言葉が持つそうした「気分」でもって、閉塞感が漂う今日の「国の気分」を変えようとしたわけでもあるまいが、それにしても唐突感を免れない。

それは、観光は、いまも「たかが」観光と揶揄されなければならぬ存在かというところではない。国土交通省が推計した旅行消費額（二〇〇一年）は、国内旅行一七・三兆円、海外旅行六・二兆円（そのうち国内消費一・九兆円）、訪日外客のわが国での消費一・五兆円、合計二五兆円にのぼり、海外旅行の海外消費分四・三兆円を差し引いた国内総消費額は二〇・六兆円というわけだから、これはもう立派な「産業」である（ただし、日本標準産業分類には「観光産業」はない）。

国内総消費額二〇・六兆円を直接生産効果（売上高）と捉え、その付加価値効果（観光産業のGDP）を推計すると一〇・四兆円、GDP比二・一％になるので、GDP比では一般機械産業（二・〇％）、輸送用機械産業（二・〇％）などの基幹産業

に匹敵する。また、直接生産効果の雇用創出効果は一八万人、就業者比二・七％で、就業者比では電気機械産業（三・〇％）、金融・保険業（三・〇％）に近づく。さらに、国内総消費額がもたらす生産波及効果は四八・八兆円、雇用創出効果は三九三万人で、観光産業の日本経済への貢献度は、国内生産額で五・四％、雇用効果で五・九％ある。

三、「感動」が誘発する海外旅行者

「されど」観光ではあるが、その内容に大きな問題がある。消費者は、国内旅行で消費し

ようが、海外旅行で消費しようが、消費額が同じなら懐の痛み具合は同じである。一方、消費者の旅行満足度は、感動／消費額で表わされるから、消費額が同じもしくは海外旅行のほうが少々高くても、海外旅行の感動

が大きいと、消費者の満足度は海外旅行のほうが高くなる。

先の国土交通省の旅行消費の推計では、国内宿泊旅行の一回当たり客単価は四三、六七五円、海外旅行の一回当たり客単価は三八〇、一〇〇円で、海外は国内の八・七倍だが、一回の平均旅行日数は国内二・六日、海外八・四日なので、一日当たりの

四、アンバランスな観光

成熟社会でモノ消費に飽きた消費者は、旅行、特に海外旅行の経験から大きな感動を得ると感動の再生産、さらには拡大再生産に励み、海外旅行にせっせと出かける。しかし、国のレベルでは、笛（あまり大きな音の笛ではなかったが）を吹けども、訪日外国人旅行者の数はいっかな増えず、国際旅行収支は大幅な赤字を積み重ねてきた。

二〇〇二年の国際旅行収支は、支払いが四兆三、二七〇億円に對し、受け取りは七、六一九億円で、差し引き三兆五、六五一億円の赤字である。この年の貿易収支の黒字一一兆七、二八〇億円と比べれば、国際旅行収支の赤字の大きさがわかる。そ

費用格差は、海外は国内の二・七倍である。したがって、海外旅行の一日当たりの感動が、国内旅行の二・七倍以上なら、消費者の海外旅行満足度は、国内旅行より高くなり、満足客の口コミによる新規海外旅行者の増加と、海外旅行経験者のリピート率の増加をもたらす。このようにして、わが国の海外旅行者

して、海外旅行者一、六五〇万人に對し、訪日外客は、近年増加傾向にあるとはいえ、五二四万人と、その差は一、〇〇〇万人を超える。だから赤字幅の縮小に努めよう（国際旅行収支の赤字第一位はドイツ、日本は二位）、そのためには訪日外客をもっと増やそうとするのはもつともである。そこで、「ビジット・ジャパン・キャンペーン」が登場した。

訪日外客のトップファイブ（二〇〇二年）は、韓国（二二七万人）、台湾（八八万人）、アメリカ（七三万人）、中国（四五万人）、香港（一四万人）で、アジアが全体の約六割を占める。日本での平均滞在日数は八・五日、訪問先は東京五七％、大阪二五％、京都一六％、兵庫は八位で五・五％、関空利用客は二

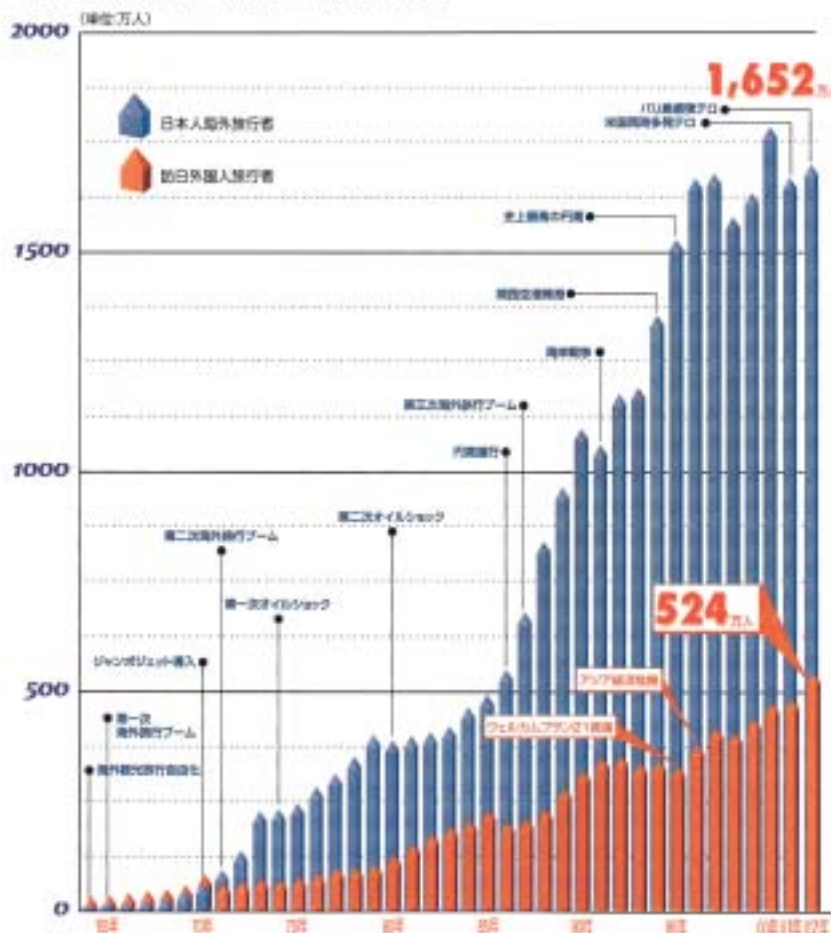
数は、一九七〇年以降、なかでも一九八五年以降円高が急激に進行する（すなわち、海外VS国内旅行の費用格差が縮まる）とともに、飛躍的に伸長した。その結果、二〇〇〇年には海外旅行者数が過去最高の一、七八〇万人に達し、二〇〇二年は一、六五〇万人を数えた。

〇％である。訪日外客の約六割が観光客で、

業務客等は約四割、彼らの一日当たりの消費額は、近年減少して、一七、八五〇円（一九九九年）で、日本人の海外旅行中の消費額約三一、六〇〇円（二〇〇一年）の五割強に過ぎない。

国際旅行収支の改善を訪日外客に託す前に、日本人海外旅行者の

○日本人海外旅行者数と訪日外国人旅行者数の推移



出所：『数字が語る旅行業2003』日本旅行業協会（原資料：法務省「出入国管理統計」国際観光振興会（JNTO））

国内旅行への転換も図らなければならぬが、国内旅行の国民一人当たり観光宿泊数は漸減傾向にある（一九九八年二・三〇泊→二〇〇二年一・八五泊）。そこで、国民の観光需要を喚起するため「リアル・ジャパン・キャンペーン」を二〇〇一年から展開している。あわせて、祝日三連休（ハッピーマンデー）倍増策を打ち出したが、それが海外旅行者の増加を促進するよ

うだと困りものだ。わが国の観光は「ビジット・ジャパン・キャンペーン」と「リアル・ジャパン・キャンペーン」で新しい時代を迎えた。古い革袋に新しい酒を入れるのはやめて、新しい酒は新しい革袋に入れよう、というわけだ。「ツーリズムの新時代」と題した。



▲子供達は元気な声で呼び込み

子供達が、商売の仕方を学ぶ「あきんどキッズ」が、十一月二日、社町のやしろメモリアルガーデンにオープンした。これは、社町商工会（上月昭二会長）、同青年部（前田安房部長）、女性部（山口廣子部長）が企画したもので、今年で三回目

オープン！
「あきんどキッズ」の店
— 児童らがビジネス体験 —
〈社町〉



▲町内の小学生5・6年が参加、手作り品などを販売する

町内の小学校五・六年生が事業計画を立て、商品の仕入れ、販売、決算書の作成など実際にビジネス体験をし、子供達の創意工夫や行動力を養い、新しいことへのチャレンジ精神を養うことなどを狙いとしている。当日は、九店舗が開店し、手



▲地域通貨についての理解を深める

作りのアクセサリやマフラー、絵葉書などを販売、子供達は来場者に元気な声で呼び込みをした。商品は完売となり、この日の売上は二十一万四千七十一円。利益に応じて配分金を手にした

子供達は、達成感に満足気だった。同商工会では、このビジネス体験を通して自立心を育み、将来の起業意欲の高揚を図れればとしている。

**地域通貨先進地
『おうみ』を訪問**
〈川西市〉

川西市商工会地域通貨導入調査研究委員会（大塩民生委員長）は十月十四日、雨の近江路を十二名が参加し草津市の「おうみ委員会」を訪問した。

これは、県連合会委託事業「地域通貨導入による地域経済活性化調査研究事業」の一環。「おうみ委員会」は、地域コミュニティづくりの潤滑油の役割を果たす地域通貨「おうみ」と地域内での経済、資源循環を促進する「おうみありがとう券」の二種類を発行している。また

**視察研修
広域連携など調査
〈朝来郡広域連携
合併研究会〉**

参加者からも商工業活性化と地域通貨の関連等活発な質疑があり、地域通貨にかける情熱、意気込みが感じられ、地域通貨の理解、これからの取組みなど多くのことを学ぶことができた有意義な視察研修会であった。



▲行政との連携等について聞く
（さぬき市商工会）

朝来郡商工会広域連携・合併研究会（朝来郡商工会会長・伊藤孝会長）は、十月二十三・四日、県商工連と香川県さぬき市商工会へ広域連携及び合併問題をテーマに視察研修を実施した。まず一行は、県商工会連合会を訪問し、連合会の重点施策、広域連携（合併）の方向性等について、説明を聴き、活発な質疑応答を行った。

あなたの“信用”が
さらにアップ
兵庫県信用保証協会
神戸市中央区浪花町62番地の1
☎ 078(393)3900(代表)

第14回 中町産業展

よさこい踊りの競演も

〈中町〉



十月十三日、中町のベルディーホールで、中町産業展が開催された。中町商工会（大西健一会長）が中心となり、町、JAみのり等と協力して実施したもので今年が十四回目。

朝から生憎の雨模様で、予定していたフリーマーケットは縮小せざるを得なかったが、天候も徐々に回復し、多くの来場者で賑わった。

「仮面ライダーファイブショー」、「播州織パッチワーク展」「国際平和ポスター展」等盛り沢山なイベントを実施。なかでも、同女性部（北垣厚子部長）が担当の「よさこい踊りの競演と創作衣装のコンテスト」は、今回が初めての試み。地元



▲熱気溢れるよさこい



▲約8,000個の景品付き餅まき

「ふれあい・笑顔・交流」元氣但東」をテーマとした「二〇〇三但東いろどりフェスタ」が十月十九日、但東町役場周辺で開催された。主催は同町商工会（福田俊文会長）と、同フェスタ実行委員会。

このイベントは、景気沈滞ムードを払拭し、元氣アップと産業の振興の起爆剤として、また、都市との交流を目的としている。

会場の特設ステージでは、ミス但馬ちりめんの認証式やよさこいおどりの競演、地元伝統芸能の披露など多彩な催しが繰り広げられ、来場者の大きな歓声が沸き上がっていた。

商工会青年部（宮垣治城部長）によるフリーマーケットコーナー、地元野菜の即売コーナーも設置され、旬の味を求める人々で賑

ふれあい・笑顔・交流・元氣但東 但東いろどりフェスタを開催

〈但東町〉



▲どろんこドッジボール大会

田圃のなかでドッジボールをするというゲーム、多くの観客から声援が飛び交うなか、参加チームは豪華賞品の獲得を賭けて熱戦を繰り広げた。

わった。

また、約八千個の景品付き餅まきを実施したほか、食べ歩き、テント村、自動車・福祉車両の展示会、子供に人気のラジコンカーレースやかかしコンテストなども実施され、盛りだくさんのイベントとなった。

賑わった

芦屋ハロウィン

〈芦屋市〉

芦屋の新しい祭となった「第二回芦屋ハロウィン」が、十月二十五日、芦屋市の中央地区で開かれ、大勢の家族連れなどで賑わった。企画実施したのは、芦屋ハロウィン実行委員会（芦屋市商工会青年部、同市商店連合会）。

昨年に続き二回目となる今回は、演出・内容に幅を持たせ、子供から大人まで楽しめるイベ



▲悪魔やお姫様も登場した仮装コンテスト

ン祭にふさわしく、悪魔やお姫様に扮した仮装コンテストには、約四十人の子供達が参加、観客から盛んに拍手が送られていた。また、当日は、同市大東町の芦屋浜センターでも「ハロウィンフェスティバル」として、ハロウィン祭を開催。かぼちゃへの絵かきコンテストや占いコーナー等で大いに盛り上がった。

ントにした。

春に、市内の幼稚園・小学校にかぼちゃの種を配り、育てたかぼちゃの大きさを競ったり、巨大かぼちゃの重さを当てたりと多彩な催し。特に、ハロウィン祭にふさわしく、悪魔やお姫様に扮した仮装コンテストには、約四十人の子供達が参加、観客から盛んに拍手が送られていた。

悔いを残さず、愛をのこすために・・・。

相続と遺言のことは、
お気軽にUFJ信託銀行へ。

こたえていくチカラ。



UFJ信託銀行

<http://www.ufjtrustbank.co.jp>



▲「マッスルトライアル」でけん
垂に挑戦

水上市商工会(田中洋行会長
は、平成十五年度兵庫県のや
気商店街事業(元気アップ事業
の認定を受け「ひかみ元気ア
ップバザール」を九月二十八日
(日)と十月五日(日)の二回
開催した。

今回の元気アップ事業は、こ
れまでに実施した同町の成松、
石生商店街から離れ、ショッピ
ングセンターゆめタウンの近く
の水上さくら公園と水上市地方
卸売市場を会場とした。
商業者を中心とした二十余り
の出店者で構成する仮想商店街
を各会場に形成し、多彩なイベ
ントを通じて集客を図り消費を
促す形で行った。

九月二十八日には、商工青年
部(谷川勝彦部長)が集客イベ
ントとして体力・筋力を競う
「水上市筋肉番付」を開催。ア
ムレスリング、スピードガンコ
ンテスト、たる投げゲーム、大
声コンテスト等を種目に町内外

『ひかみ元気アップバザール』

仮想商店街が出現

〈氷上町〉



▲マグロの解体ショーも実施、日頃あまり見られない光景
に黒山の人々



▲氷ノ川太鼓で景気付け

からの多数の挑戦者を集めた。
なかでも人気を呼んだのが、一
分半の制限時間内で、腕立て伏
せ、腹筋、けん垂の回数を競う
「マッスルトライアル」。体力
に自信がある子供たちが軽快に
種目をこなす姿が続き、見物人
の大人たちをうならせていた。
また、この日は水上市スタ
ンブ会二十五周年記念感謝祭も開
催。温泉旅行やプロ野球日本シ
リーズ観戦チケットが当たる大
抽選会には、会場に入りきれな
いほどの人々が集まり抽選結果
に一喜一憂した
十月五日には、卸売市場と協
力し、秋の味覚を中心としたバ
ザールを開催。今回の集客の目
玉としてマグロの解体を実演し
た。日頃あまり見ることもない
大きなマグロが、見る見るうち
に切り捌かれる光景に、会場か
らは大きな歓声が上がっていた。
また、解体されたマグロは町



▲バザールでは秋の味覚を中心に



▲ダンボールの組み立てキットで
遊ぶ子供たち

内寿し職人がにぎり寿しにして、
来場者にふるまわれるとあって、
コーナーには開始前から長蛇の
列ができ、開始数分で用意した
約一千人分のにぎり寿しが無く
なるほどの盛況となった。
その他、来場者に市場の雰囲気
味わってもらおうと「模擬せ
り売り」も実施。まつたけ、く
り、枝豆といった丹波の秋の味
覚がせりにかけられ、市価の半
額以下でせり落とされた。

—— 県下中小企業者と共に40年 ——

県 共 済

兵庫県火災共済協同組合
兵庫県共済協同組合

神戸市中央区中山手通7丁目28番33号(県立産業会館内)
〒650-0004 ☎078-361-8080 FAX 078-371-6757

住友生命

貯めて、使える。

保険を超える保険

LIVE ONE

| スミセイ総合生活口座 | ライブワン |